

春の星空

【児童センター春の星空5月号】

普通、星座を見つけるのは南の夜空からはじめますが、5月は天頂から北の空にかけて星座を捜してみましよう。ゴールデンウィーク付近は新月で月明かりがありません。

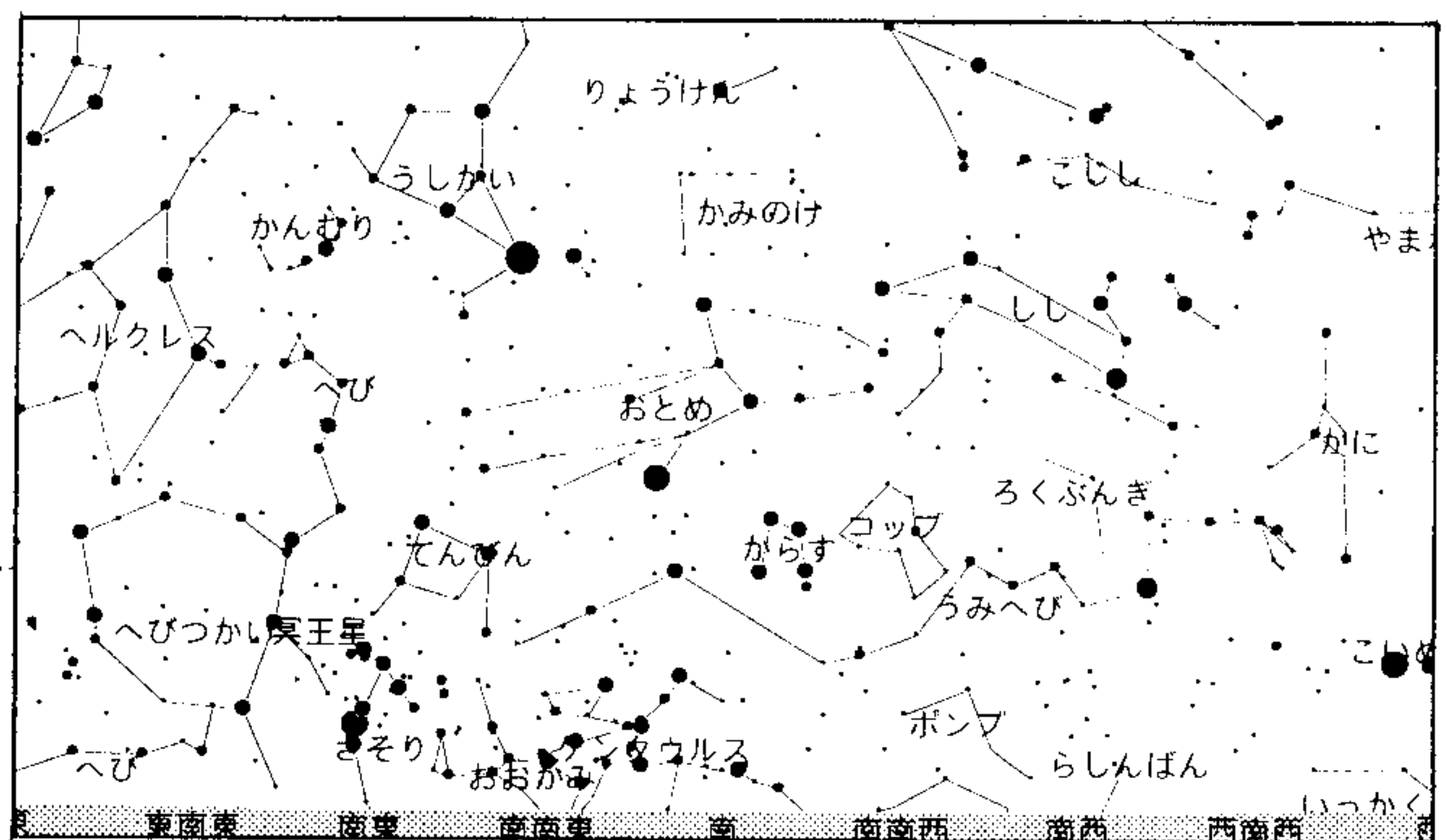
旅行などで郊外に出かけた時、北の夜空にある北斗七星（ひしゃくの形をした星の列びです）を見つけて下さい。この“ひしゃく”の柄の部分に南方向に延ばすと赤い色をした1等星アルクトゥルス（うしかい座）に行きあたります。さらに曲線を延ばすと、青白をした1等星スピカ（おとめ座）にたどり着きます。春の星座案内になる北斗七星の“ひしゃく”から延びる曲線を春の大曲線といいます。

夜がふけてくると、早くも夏の星座たちが東から登ってきます、比較的透明度がよいこの季節に夏の星座も見てください。（6・7月と梅雨になりますので…）

<5月の星空カレンダー>

- 4日（木）●新月
- 5日（金）立夏
- 11日（木）①上弦
- 18日（木）○満月
- 26日（金）②下弦

右の星図は、5月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆5月5・6日の夕方の西空には、新月直後のうすい三日月があります。

そのすぐ近くには、赤い色をした「火星」がありますので、三日月を目安に見つけて下さい。5月5日は月の右、6日は月の右下に「火星」があります。

☆水星が20日以降になると、夕方の西北西の低い位置に見えます。観測の好期になります。また、19日には火星の北約1度に接近します。

（5月上旬は「水星」は明け方の東天にありました。）